

(12/21 3:30)

# 「いつたん10割請求」500事例超

## 10月以降のマイナ保険証利用

全国保険医団体連合会（保団連）は20日会見し、回答が実施したマイナンバーカード保険証トラブルのアンケートの中間結果を公表しました。10月以降少なくとも全国約3500の医療機関でトラブルがあり、「来年秋の健康保険証廃止は問題ない」とする政府の姿勢を批判しました。

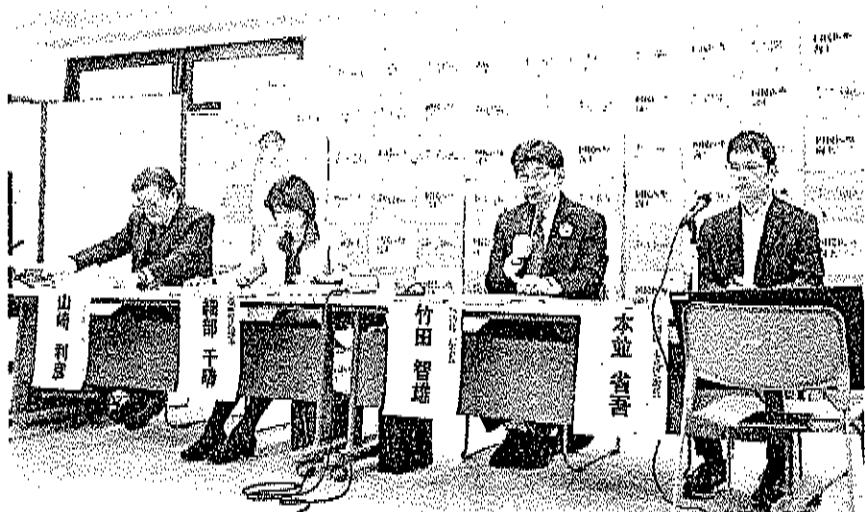
### 保団連が調査中間集計

保団連は、全国の全員医療機関に対し、10月以降、マイナ保険証やオンライン資格確認システムでトラブルがあったかどうかを調査。約6000医療機関から回答があり、うち約3500医療機関でトラブルがありました。

トラブルとして最も多かったのは「名記や住所で【●】が表記されず、【●】が表記さ

れる」で、約2400医療機関で発生しました。また、「資格情報が無効である」とされたトラブルも約170件確認されました。

細部千晴理事は、小児科医の立場から「子どものマイナ保険証が



アンケートの中間結果について公表する竹田智雄副会長（右から2人目）＝20日、東京都渋谷区

負担を患者に請求した事例も600件以上あります。竹田智雄副会長は「マイナ保険証の利用率が5%を切る中でこのトラブル件数。健康保険証が廃止になれば、20倍のトラブルが発生することとなる」と強調しました。

細部千晴理事は、小児科医の立場から「子ども医療費の無償化が進む中、このようないいがあれば、保護者や患者との信頼関係が崩れかねないことを小児科医は危惧し

ています。アンケートの最終結果は、来年1月に公表されます。

てある」と訴えました。